

第35回女性交流集会および2016年度女性政治学習会参加報告

1月23日(土)～1月24日(日)にかけて上記集会在札幌自治労会館にて開催されました。

1月23日(土)の女性交流集会では74単組総支部より140人の参加があり、はじめに北海学園大学教授の中園さんを講師に迎え、「ひとごとではない！ 貧困問題～なぜ女性の賃金は低いのか」と題し、「多くの女性が正職員として働けない原因は長時間労働にある。家事・育児・介護をしながらでも女性が正社員として働ける働き方の仕組みを、女性自身が提唱していかなければならない。そのためにも上位職に挑戦していける女性を育てる環境を皆さんが作ってほしい」とご講演いただきました。続いてオキナワ平和の旅参加報告・分散会の後、えさき たかし参議院議員と徳永エリ参議院議員が来場し、えさき氏は、安保法制・防衛装備庁新設、アベノミクスの金融緩和、地方交付税のトップランナー方式等の問題に触れ「日本はたった一人の総理大臣が作ったきわめて奇妙な流れの中を突き進んでいる。7月の参議院選において政治情勢の転換をしなければ我々に未来は来ない。みなさんから頂いた何十万もの矢を持って、もう一度国会に挑み、そのうちの一本でもきっちり総理や資本原理主義者たちに射こみたい。」と参議院選に向けての決意をお話いただきました。徳永氏は、TPP導入による食料自給率の低下や安保法制について警鐘を鳴らし、「4月の5区補選と7月の参議院選は、私たちの暮らしと命と平和を次世代につなげていくための選挙だと受け止めてほしい」とご挨拶いただきました。



なかぞの
中園 講師

最後に、上島女性部長より「今年4月から各自治体で女性活躍推進法に基づいて事業主行動計画を作成し実施していかなければならないが、そこに女性部として女性の声をしっかりと反映させてほしい。」と、女性活躍推進法について触れ、女性交流集会は終了しました。



上田弁護士

1月24日(日)の女性政治学習会は、65単組116人の参加がありました。まず、前札幌市長である上田文雄弁護士より「いま憲法が危ない」と題し、「憲法は権力者を縛るものであって、縛られる側(=政府)が縄を緩めることは許されない。『国民も憲法を尊重しなければならない』と謳っている自民党憲法改正草案は憲法の概念から全く外れている。人類の多年にわたる自由獲得の成果である日本国憲法を国民が政府から取り戻す時に来ている」と講演がありました。次に、4月にある衆院北海道5区補欠選挙で推薦が決定した池田真紀候補予定者のあいさつと、あいほら くみこ参議院議員による国政報告がありました。最後に、上島女性部長から「憲法改正にともなう動きは、私たちを『戦争のできる国家を支えるための国民』にしようとしている。重要な選挙が続くが、『組合で決められているから』投票するのではなく、自分や家族の為に取り組んでほしい」とまとめがあった後、団結ガンバローで学習会を締めくくりました。

(参加・報告：)



えさき たかし議員



徳永 エリ議員



池田 真紀候補予定者



あいほら くみこ議員



春の文化体育事業緊急アンケートを実施します!

このたび、青年女性部では4月に行う予定の文体事業についての緊急アンケートを実施します！
昨年度はリフレッシュ事業として保健センターにて自宅で簡単に出来るエクササイズと筋力トレーニングを行いました。「こんな企画があったらいいなあ～」「あんな場所に行きたいなあ～」etc、皆様からいただいた貴重な意見をもとに楽しい事業を企画していきたいと思っております！！

別紙のアンケート用紙にて、回答いただきましたらお近くの文化体育部(深見(崇)・竹内(祥)・木下・奈良)まで提出下さい！お忙しいとは思いますが、ぜひご協力ください。

たくさんのご要望お待ちしております！！

提出期限は 2月24日(水)です！！ よろしくお願ひします！！